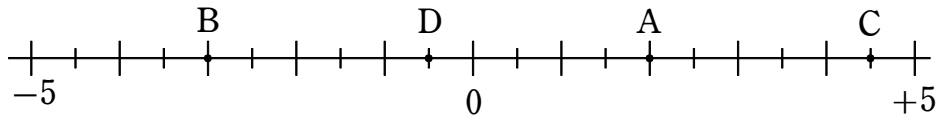


中1の復習 『数の大小』

- 1 下の数直線で、点A～Dが表す数を、整数または小数で、符号をつけて答えなさい。



- 2 次の各組の数の大小を、不等号を用いて表しなさい。

① $+6, +4$

② $-7, -3$

③ $+2, +9, +1$

④ $-5, -10, -8$

⑤ $+5, -1, 0$

⑥ $0, -4, +3$

中1の復習 『数の大小』

1 答え

A +2 B -3 C +4.5 D -0.5

解説

数直線上では、右にある数ほど大きい。

2 答え

① $+6 > +4$ ② $-7 < -3$ ③ $+1 < +2 < +9$

④ $-10 < -8 < -5$ ⑤ $-1 < 0 < +5$ ⑥ $-4 < 0 < +3$

解説

正の数は、絶対値が大きいほど大きい。負の数は、絶対値が大きいほど小さい。